



ASF 制御下に 全国の封鎖解除数は 100 以上

新浪吉林

jl.sina.com.cn

2019-04-21

12:49

来源： 新京报网

新京報 速報 (記者 李 玉坤)

4月19日、農業農村部は、海南省儋州市の養豚場2か所、万寧市の養豚場2か所でアフリカ豚コレラ(宮本注:以下『ASF』)が発生したと発表した。記者は、新疆とチベットで4月初めにASFの発生が発表されているが、これは、つまり、香港・マカオ・台湾を除く31の省・自治区・市全てでASFが発生したことを意味していると知った。現時点では、23省の封鎖は全て解除されている。

全国では既にASFアウトブレイクが120件以上発生

農業農村部のデータによると海南省の2市4養豚場でのASFが発生する前には、4月14日までに全国で123件のアウトブレイクが発生しているが、内訳はブタの発症120件、イノシシの発症3件となっており、30省の89市(区、盟)で見つかっている。

瓊州海峡で隔離されている海南省に加え、チベットや新疆もまた若干遅れてASF発生省となったが、いずれも4月以後初の発生ということになった(件数については、何か所かで一度に見つかった場合のカウントの仕方にもよるので、養豚場の数を基準にカウントしている私の方が若干おおいものの、チベット、新疆、海南省の発生は事実4月になってからの発生です。詳細は『[中国におけるアフリカ豚コレラ\(ASF\)の発生と封鎖解除リスト](#)』をご参照ください)。新疆初のASFはウルムチ市米東区の養豚合作企業で発生したが、農業農村部は4月4日にこの発生情報について発表している。チベット初のASFは、ニンティ市の巴宜区、コンボギャグダ県、ポメ(波密)県で発生したが、発生の情報は4月7日に発表されている。

現時点までに、全国では既に封鎖が解除されたASFは111件あり、その内訳はブタのASFが109件、イノシシのASFが2件となっている。28省の81市(区、盟)にわたるが、うち23の省については、既に全て封鎖解除されている。

今回新たに発表された海南省のASF以外に、イノシシのASF発生1件を含め、7省の8市(区、盟)におよぶASF発生計12件についてはまだその封鎖が解除されていない。

本年第四四半期の豚肉価格は最高値を記録する恐れ

昨年8月末のASF発生以後、全国の豚肉価格は振れながら低下するが、この2月までは低下傾向が続いている。

4月20日、農業農村部畜牧獣医局の王俊勳副局長は、農業展望大会の席上、ASFの影響を受け、養豚家(戸)は飼育に慎重で、ブタの生産能力は低下を続け、前年比減少は過去最大のものになるかと語った。

農業部門による養豚場1500か所に対するアンケート調査では、ASFのリスクが大きいため飼育ブタの補充を選択しないという養豚家が55%を占めており、22%の人は様子見、18%の人が補充したいと考えているということが判明した。

農業農村部が先日発表した情報によると、生産能力の調整の影響として、第1四半期の豚肉価格低下はストップした。3月度の全国豚肉卸売市場価格平均は6.3%の値上がりを見せ、その後の傾向をみるとブタの価格は第2四半期に上下しながら上昇の趨勢を呈した。後半6か月における豚肉価格はあつという間に上昇し、70%以上跳ね上がるかもしれない。

王俊勳副局長は、子ブタと肥育ブタの飼育量は昨年12月以来あつという間に下降し、現時点での市場に出せる肥育ブタは明確に減少しており、ブタの価格が上昇チャネルに乗ったのだと分析している。

彼は、通年での豚肉生産量は明らかに減産となるが、後半6か月の供給は厳しくなり、第4四半期のブタの価格は2016年の過去最高値を超える可能性があるのではとみている。

デマ

中国は流行国からの豚肉を輸入していない

中国動物衛生疫学センターの黄保続副主任は、農業展望大会の席上、「世界経済の一体化により、アフリカ豚コレラは24時間以内に全世界に拡散し、都市化の加速もあって、イノシシが絶えずブタに伝播させることもまたあるし、両者の相互作用により世界中にASFが広まることはありうる。2015年以後、1000件/年以上の割合で(インシデントが)増加している」と説明した。

四川省農業農村庁発行の『アフリカ豚コレラ予防管理 20 問』では、ASF は東アフリカのケニアで 1921 年に初めて確認されたと言及されている。1957 年には欧州、1971 年には米州に、2007 年にはユーラシア国境のジョージアに渡来した。

黄保統副主任は、2007 年以後、ASF はロシアに入り、コーカサス地区に定着したという。2017 年にはモンゴルに隣接するイルクーツクに拡散、中国にとっての警鐘を鳴らすことになったが、2018 年 8 月、ついに遼寧省瀋陽市瀋北新区で ASF が見つかってしまった。

黄保統副主任は、社会では ASF がどこからやって来たのかといろいろ憶測しているが、分子疫学分析によると、中国で ASF を引き起こしたウィルスは、全てが同じタイプに属しており、東欧及びロシアで発表された全ゲノムの配列と 99.93～99.98% の相同性があることから、これと同一のウィルスと見做せるだろうと続けた。

彼はさらに、中国はロシアなど ASF 発生国からは豚肉を輸入していない、人々にはデマに耳を傾けてはならないと強調した。記者は、ASF 発生後にネット民が中国での ASF 発生はロシアから豚肉を輸入したからだというデマを流したのだと聞いた。

進展

ASF を根絶した国家もある

ASF が発生した 64 カ国のうち、一部の国は既に ASF を根絶している。

『これらの国では、既に早期発見早期処置によって迅速に抜け出したという事例や、国中のブタを徹底的に殺し後顧の憂いを取り除いたというものもある。だが、多くの国では、区域を段階的に分けて徐々に ASF の制御をしたというものだ』と黄保統副主任は語った。

ASF の発生後、中国は第一級の予防管理を起動し、殺処分や搬入搬出の禁止等の厳格実施により迅速に流行拡大への対処を期待していたが、『中国の場合はブタの密度が高く、搬入搬出のネットワークが複雑なために短期間の ASF 根絶という目標の実現は大変に困難なものだった』黄保統副主任は、その後になって、農業農村部も緊急措置をアップグレードしたが、主に ASF 発生後に感染地のブタとこれに関連しているブタのグループを殺処分するだけにとどまり、汚染地区の近隣にあるブタの殺処分はしていなかったと説明を加えた。

彼は、屠殺マーケットの管理監督の強化やブタとハイリスク製品の移動制限、運送用車両の管理監督の強化、ブタの飲食に汚水を使用することの禁止等は全て ASF 制御にとって必要な措置であると考えている。『汚染地区の運輸車両中、41% の車両からはウィルスが検出されたが、これは最初に考慮していなかった点である。』

ASF はどのようにして中国にもたらされたのか

欧州ブタの臓物

まずは、リスク製品の密輸だ。欧州においては、ブタの臓物を消費せず、我が国とは価格差があることから、国連の貿易データを見てみると 2017 年以後 ASF が発生した欧州の 12 カ国から ベトナムや韓国、中国香港など向けに出荷されていることがわかる。出荷されたリスク製品は 40 万トン以上に達するが、これらの製品のかなりの部分は税関回避により或いは海からの密輸により中国にもたらされる。中国は既に密輸されたブタの内臓からウィルスを検出している。

欧州ブタの臓物

中国と関連の ASF 発生国との貿易上の往来は頻繁なもので、国内の 20 市以上を経由する国際輸送手段によってウィルスの付着したものが携帯品として持ち込まれるリスクがある。調理済み製品が主なものだが、これらのリスクは高いものではない。

野生イノシシの越境

ASF がロシアで定着拡散してゆくにつれ、また、中国東北地区でイノシシの密度が増加してゆくにつれ、ASF がイノシシを通じて持ち込まれるリスクは高まる。昨年、中朝国境から 23km 離れたところにある吉林省白山林区で、一頭のイノシシが ASF により死亡しているのが見つかったが、ウィルスのタイプは中国におけるブタの ASF とはタイプが異なるものだった。この後、中朝国境の黒河市の林区でイノシシの ASF が集団発生している（赤い下波線は記者による。農業農村部は 1 月 23 日に『黒河市の封鎖解除』を発表していますが、実は 2018 年末時点で農業農村部からは『黒河市愛輝区で発生』という発表がなされていないまま、いきなりの封鎖解除になっている点、政府発表の洩れと思われます）。

国内の伝播ルート

ASF を概観してみると、我が国においては北から南へ、東から西へ、都会から農村に拡散していることが判る。ASF は嘗て、直接接触することで伝播するものと思われていたが、現時点での研究により、伝播ルートがかなり複雑なものであり、少なくとも 4 つの循環連鎖があるということが分かった。中国においては、輸送手段（の進歩）がより遠距離の伝播を引き起こすだけではなく、（残飯やとぎ汁などの）汚水が局部的に循環し、蠅などの生物によりウィルスが運ばれるリスクもある。

毒株のタイプは？

現在中国で流行している ASF ウィルスの遺伝子型は、II 型だが、三つのタイプに三分できる。もっとも原始的なものは、白山のイノシシから分離した毒株で、これは東欧において早期の時点で流行したものと同一タイプのものだ；第二のタイプは、瀋陽市瀋北でブタから見つかった毒株であり、国内と東欧で現在流行しているものの主要な毒株となっている；第三のタイプは、広西貴港市で分離された毒株で、世界で初めて見つかった毒株だ。 報告によれば、中国の ASF は、発症から報告までに平均 10 日、長いものでは 3 か月以上もかかっている（3 か月以上もかかったという地域の責任者は きっと更迭されるでしょうね。あまりにも遅すぎる！）。

<http://jl.sina.com.cn/news/gngj/2019-04-21/detail-ihvhiqax4207007.shtml>

African swine fever is under control: Lifted blockades exceeded 100 incidents Nationwide

Sina Jilin jl.sina.com.cn 2019-04-21 12:49 Source: Beijing News

Beijing Newsletter (Reporter Li Yukun)

On April 19, 2019, the Information Office of the Ministry of Agriculture and Rural Affairs announced that there occurred African Swine Fever outbreaks at two pig farmers in Danzhou City and two farmers in Wanning City, Hainan Province. The reporter learned that Xinjiang and Tibet had reported the African swine fever epidemic in early April, which means that all the 31 provinces, autonomous regions and municipalities except Hong Kong, Macao and Taiwan have had African swine fever outbreaks. At present, all 23 provinces have been lifted their blockades.

More than 120 African swine fever outbreaks in China

Before the African swine fever outbreaks found at the four pig farmers in the two cities of Hainan Province, according to the data of the Ministry of Agriculture and Rural Affairs, as of April 14 this year, there were 123 outbreaks found throughout the country, including 120 pigs incidents and 3 wild boars, involving 89 cities (districts and leagues) in 30 provinces.

In addition to Hainan Province which is blocked by the Qiongzhou Strait, Tibet and Xinjiang also became the provinces where the African swine fever outbreaks occurred a little bit late, and they became the first provinces where ASF occurred only after April this year. The first epidemic in Xinjiang occurred in a farming company in the Midong District of Urumqi, and the Ministry of Agriculture and Rural Affairs released the epidemic information on April 4. The first African swine fever epidemic in Tibet occurred in the Bayi District, Gongbu Jiangda County and Bomi County of Linzhi City. The epidemic information was released on April 7.

At present, there have been 111 outbreaks of the blockade in the country, including 109 domestic pigs and 2 wild boars. 81 cities (districts, alliances) involving 28 provinces, of which 23 provinces have all been released from the blockade.

In addition to the newly reported epidemic situation in Hainan Province, there are 12 cases of African swine fever that have not been lifted the blockades, including one wild boar epidemic involving 8 cities (districts, leagues) in 7 provinces.

Pig prices in the fourth quarter of this year may hit a record high

Since the beginning of the African swine fever epidemic at the end of August last year, the national pork price has continued to fluctuate and fell, and the decline continued until February this year.

Wang Junxun, deputy director of the Animal Husbandry and Veterinary Bureau of the Ministry of Agriculture and Rural Affairs, said at the Agricultural Outlook Conference held on April 20 that due to the epidemic situation, farmers are still worrying about replenishing the pigs, and the production capacity of pigs is continuously declining, decline may reach the historically bad by the year-on-year.

According to the questionnaire survey conducted by the agricultural department for 1,500 pig farms, 55% of the farmers who explicitly chose not to fill the pigs as the risk of the epidemic is high, 22% is hesitating to wait and see,

and only 18% of them intend to add the pigs.

Recent information released by the Ministry of Agriculture and Rural Affairs showed that affected by capacity reduction, pork prices stopped falling and rebounded in the first quarter. In March, the average price of pork wholesale market in the country rose by 6.3%. From the later trend, pig prices in the second quarter are expected to maintain a volatile upward trend. In the second half of the year, there may be a rapid increase in pork prices, which may increase by more than 70%.

Wang Junxun also analyzed that the stocks of piglets and fattening piglets have declined rapidly since December last year. The number of fattening pigs currently available for listing has decreased significantly, and the price of live pigs has begun to enter a rising channel.

He expects that pork production in the whole year may show a significant reduction in production, and the supply of live pigs will be tight in the later period, and the price of live pigs in the fourth quarter is likely to exceed the historical high of the year 2016.

Rumor

China has not imported pork from the country of the epidemic

Huang Baozu, deputy director of the China Center for Animal Health and Epidemiology, introduced at the Agricultural Outlook Conference:

Globalization of the world economy can make African pigs spread all over the world within 24 hours, and the speed of urbanization is accelerating. In addition, wild boars continuously spread ASF to domestic pigs, and the interaction between these two has significantly accelerated the global epidemic. Since 2015, it has increased by more than 1,000 per year.

According to the "20 questions on prevention and control of African swine fever" issued by the Agricultural and Rural Affairs Department of Sichuan Province, in 1921, the East African country of Kenya first confirmed the African swine fever epidemic. It was introduced to Europe in 1957, introduced to the Americas in 1971, and first spread to Georgia in the Eurasian border in 2007.

Huang Baozu told that since 2007, African swine fever has spread to Russia and has been established in the Caucasus. In 2017, spread to Irkutsk, neighboring Mongolia, which gave an alarm to China. In August 2018, an epidemic occurred in Shenbei New District of Shenyang City, Liaoning.

Huang Bao continued, the community has speculated on where the epidemic came from, and molecular epidemiological analysis shows that the viruses that caused the African Swine Fever in China are all the same type. The homology of the whole genome sequence published in Eastern Europe and Russia is between 99.93% and 99.98%, which can be regarded as the same virus.

However, he stressed that China has not imported pork from countries such as Russia where ASF has occurred. He hopes that people should not listen to rumors. The reporter learned that after the outbreaks of the African Swine Fever, the net people once rumored that the outbreaks were caused as China has imported pork from Russia.

Extension

There are countries eradicated African swine fever

Some of the 64 countries in the world that have had African swine fever have eradicated the epidemic.

"These countries have both cases of getting rid of ASF through early detection and early treatment, as week as culling the live pigs completely in order to eliminate the aftermath. Many countries, however, gradually controlled ASF through separating the affected area by region." Huang Bao continued.

After the outbreak, China started the first-level prevention and control, and it is expected to strictly implement the rapid treatment of the epidemic such as culling and prohibiting transportation. "But the density of pigs in China is so large, the transportation network is so complicated, and the goal of eradicating the epidemic in a short time was difficult to achieve." Huang Bao continued, the Ministry of Agriculture and Rural Areas also optimized emergency measures later, however, it was mainly just by killing infected pigs and associated pigs after the epidemic was reported, and no longer killing pigs in the impacted area.

He believes that strengthening the supervision of the slaughtering market, restricting the transportation of live pigs and risky products, strengthening the supervision of transport vehicles, and prohibiting drowning of pigs are all necessary measures to control the epidemic. "Out of the incidence area's transport vehicles, 41% of vehicles were able to detect the virus, which was not realized at the beginning stage."

How did the epidemic spread to China?

Entrails of European pigs

The first is the smuggling of risk products. As European countries do not consume pigs' entrails, and due to the price difference with China is relatively large, as the United Nations trade database shows, 12 European outbreak countries have shipped these entrails to Vietnam, South Korea, Hong Kong and so on since 2017, more than 400,000 tons of risk products are exported, and a considerable part of these products were brought to China by bypassing customs, or smuggling at sea. China has detected the nucleic acid of the virus in a batch of smuggled pork entrails.

Personal belongings of Travelers

China's trade with the relevant countries in the epidemic is very frequent. International transportation vehicles pass through more than 20 cities in China. Some passengers carry the risk of carrying viruses, mainly cooked products, and the risk is lower.

Migration of Wild boars

With the colonization and spread of African swine fever in Russia and the increasing density of wild boar populations in Northeast China, the risk of introducing African swine fever through wild boars has increased. At the end of last year, it was found that a wild boar died of African Swine Fever at Jilin Baishan forest area, 23-kilometer from the border line of China and North Korea, the type of virus was different from that of which caused American Swine Fever among pigs in China. Since then, an outbreak of domestic wild boar has occurred in a forest area of (Aihui District in) Heihe City, located at the Sino-Russian border.

Domestic transmission route

Looking at the epidemic as a whole, China's African swine fever has a tendency to spread from north to south, from east to west, and from suburban to rural areas. African swine fever was once thought to be transmitted by direct contact, but current research suggests that the route of transmission is quite complex, there are at least four circular chains. In China, there are long-distance propagation caused by progress of transportation tools, local circulation caused by usage of sewerage, and the risk of other organisms such as flies.

What are the types of strains?

At present, the current epidemic strains of African swine fever are all "type II", but they can be refined into three different strains. The most primitive one is the isolated strain of wild boar in Baishan City, which is the same as the earliest popular strain in Eastern Europe; The second is the pig strain of Shenbei District, the most popular strain in China and Eastern Europe currently. The third one is a strain isolated from Guigang City of Guangxi Autonomous Region, which is the first strain found in the world. The average time needed to report from the onset of African Swine Fever is 10 days, the longest one needed more than 3 months (3 months? How did they need such a long time? The person in charge must be scolded...).

Beijing News reporter: Li Yukun

..... 以下是中国語原文

非洲猪瘟疫情受控制 全国解除封锁超百起

新浪吉林 jl.sina.com.cn 2019-04-21 12:49 来源： 新京报网

新京报快讯（记者 李玉坤）农业农村部新闻办公室 4 月 19 日发布，海南省儋州市两养殖户和万宁市两养殖户发生非洲猪瘟疫情。记者了解到，新疆和西藏已于 4 月初通报非洲猪瘟疫情，这意味着全国除了港澳台外的 31 个省市区已经全部发现非洲猪瘟疫情。目前，23 个省份已全部解除封锁。

全国发生 120 多起非洲猪瘟疫情

在海南省两市四个养殖户发现非洲猪瘟疫情之前，农业农村部的数据显示，截至今年 4 月 14 日，全国累计发生疫情 123 起，其中家猪 120 起，野猪 3 起，涉及 30 个省份 89 个市（区、盟）。

除了因琼州海峡阻隔的海南，西藏、新疆也是发生非洲猪瘟疫情较晚的省份，均于今年 4 月之后才出现首例疫情。新疆的首例疫情发生在乌鲁木齐市米东区一养殖合作社，农业农村部 4 月 4 日发布了疫情信息；西藏的首例非洲猪瘟疫情发生在林芝市巴宜区、工布江达县、波密县，疫情信息 4 月 7 日发布。

目前，全国已经解除封锁的疫情 111 起，其中家猪 109 起，野猪 2 起。涉及 28 个省份的 81 个市（区、盟），其中 23 个省份已全部解除封锁。

除了新通报的海南省的疫情外，还有 12 起非洲猪瘟疫情没有解除封锁，包括 1 起野猪疫情，涉及 7 个省份的 8 个市（区、盟）。

今年 4 季度猪价或创历史新高

自去年 8 月底非洲猪瘟疫情发生以来，全国猪肉价格持续震荡下跌，跌势延续到今年 2 月。

农业农村部畜牧兽医局副局长王俊勋在 4 月 20 日举行的农业展望大会上表示，受疫情影响，养殖户补栏仍

比较谨慎，生猪产能呈现延续下降的趋势，同比下降幅度达到历史最大值。

农业部门针对 1500 户养猪场的问卷调查显示，因疫情风险大而明确选择不补栏的养殖户占 55%，犹豫观望的占 22%，打算补栏的仅占 18%。

农业农村部日前发布的信息显示，受产能调减的影响，一季度猪肉价格止跌反弹，3 月份全国猪肉批发市场均价环比涨 6.3%，从后期走势看，二季度猪价有望保持波动上行走势。下半年猪肉价有可能出现阶段性快速上涨，涨幅或超过 70%。

王俊勋也分析，仔猪和育肥仔猪存栏量自去年 12 月以来快速下降，当前可上市的育肥猪明显减少，生猪价格开始进入上升渠道。

他预计，全年猪肉产量可能出现明显减产，后期生猪供应趋紧，四季度活猪价格很可能突破 2016 年的历史高点。

辟谣

中国未从疫情国家进口猪肉

中国动物卫生与流行病学中心副主任黄保续在农业展望大会上介绍，全球经济一体化，可以使非洲猪瘟 24 小时内传遍全世界，而城镇化速度的加快，又使野猪不断向家猪传播，二者相互作用，使全球的疫情明显加快，2015 年以来，每年增加 1000 多起。

四川省农业农村厅下发的《非洲猪瘟防控 20 问》提到，1921 年东非国家肯尼亚首次确认非洲猪瘟疫情。1957 年传入欧洲，1971 年传入美洲，2007 年首次传播至欧亚接壤的格鲁吉亚。

黄保续说，2007 年以来，非洲猪瘟传播到俄罗斯，并在高加索地区定殖。2017 年扩散到临近蒙古国的伊尔库茨克，给我国敲响警钟，2018 年 8 月，辽宁沈阳沈北新区出现疫情。

黄保续说，社会各界纷纷猜测疫情从哪里来的，分子流行病学分析表明，引发我国非洲猪瘟疫情的病毒都属于同一类型，与东欧和俄罗斯公布的全基因组序列同源性在 99.93%到 99.98%之间，可以视为同一个病毒。

但他强调，我国没有从俄罗斯等疫情国家进口过猪肉，希望大家不要听信谣言。记者了解到，非洲疫情发生后，网上一度传言我国从俄罗斯进口猪肉导致疫情。

延展

已有国家根除非洲猪瘟疫情

全球发生非洲猪瘟的 64 个国家当中，部分已经根除疫情。

“这些国家既有通过早发现早处置迅速拔出的案例，也有捕杀全国生猪彻底解除后患的。但更多的是，通过分阶段分区域，逐渐控制疫情。”黄保续说。

出现疫情后，我国启动一级防控，期望严格实施捕杀、禁止调运等快速处置疫情。“但是我国生猪密度大，调运网络复杂，短时间内根除疫情的目标很难实现。”黄保续说，后来，农业农村部又优化应急措施，主要是疫情发生后，只捕杀疫点生猪和关联猪群，不再捕杀疫区范围内的生猪。

他认为，加强屠宰市场的监管、限制生猪及风险产品调运、加强运输车辆监管、禁止泔水喂猪等，都是控制疫情必要的措施。“疫点运输车辆当中，有 41%的车辆能够监测出病毒，这是开始时并未意识到的。”

疫情如何传入中国

欧洲猪下水

首先是风险产品的走私。欧洲不消费猪下水，跟我国价格差异比较大，从联合国贸易数据库来看，2017 年以来，欧洲 12 个疫情国向越南、韩国、中国香港等地，出口的风险产品达 40 多万吨，这些产品中的相当一部分，通过绕越设关地或海上偷运的方式进入中国。中国已经在一批走私猪肚中，检测出病毒的核酸。

旅客携带物

我国与有关疫情国的贸易十分频繁，国际运输工具途经国内 20 多个城市，一些旅客携带物有携带病毒入境的风险，主要是熟制品，风险要低一些。

野猪迁移

随着非洲猪瘟在俄罗斯的定殖和扩散，以及中国东北野猪种群密度的增加，让非洲猪瘟通过野猪传入的风险加大。去年底，位于中朝边境 23 公里的吉林白山林区，发现一头野猪死于非洲猪瘟，但是病毒类型与引发国内家猪非洲猪瘟疫情的病毒类型不同。此后，在中俄边境的黑河一个林区，发生了一起家养野猪的疫情。

国内传播途径

总体看疫情，我国非洲猪瘟呈现由北向南、由东向西、由城郊向农村扩散的趋势。非洲猪瘟一度被认为是直接接触传播的，但当前研究表明，传播途径相当复杂，至少存在四个循环链。在我国，既存在由调运引发的远距离传播，也存在因泔水导致的局部循环，还有苍蝇等其他生物带毒的风险。

毒株有哪几类

我国目前非洲猪瘟的流行毒株都是基因Ⅱ型，但又能细化为三个不同的毒株，最原始的是白山野猪分离的毒株，与东欧最早的流行毒株相同；第二个是沈北的家猪毒株，是国内和东欧目前最主要的流行毒株；第三个是广西贵港分离的毒株，是全世界首次发现的毒株。

报告显示，我国非洲猪瘟从发病到报告平均为10天，最长3个多月。

新京报记者 李玉坤

20190421A ASF 制御下に 全国の封鎖解除数は100以上(新浪吉林)